

# なんたん 社協だより

第 53 号  
2022. 7



令和4年度ふれあい委員研修会

目  
次

- 南丹市社会福祉協議会 令和3年度の主な取り組み報告……P.2～3
- 南丹市社会福祉協議会 令和3年度決算／令和4年度予算…… P.4
- 令和4年度 南丹市社会福祉協議会 役員・委員等紹介…… P.5～7
- みんなで一歩プロジェクト～その後の取り組み～親子で考える防災講座 P.8



南丹市社協マスコット  
「ニヤンたん」



## 感染対策をしながら、工夫して事業を継続しました！



## 7月 南丹市災害ボランティアセンター開設・運用訓練の実施

コロナ禍における災害ボランティアセンターの動きについて感染予防対策を含めて確認をするために、職員対象に訓練を実施しました。訓練では、センター運営での感染症対策には何が必要であるのか参加者全員で話し合い、感染症対策を講じた形に配置しました。設置したセンターで、実際にボランティアの受付から送り出し、その後活動の報告を受けるところまでのシミュレーションを行いました。



## 9月 なんなんオレンジガーデニングプロジェクト 地域包括支援センター

世界アルツハイマーに合わせて認知症啓発カラーのオレンジ色の花を咲かせようと取り組みました。各家庭や学校、介護・福祉の施設など多くの方に参加していただきました。思いを込め 大切に育てられた花は、見る人の目を楽しませてくれました。

10月 食からつながるプロジェクト@なんなん  
12月 年末年始緊急支援

南丹市内にも、新型コロナウィルスの影響を受け、生活に困られている方が多くおられました。人と人がつながりにくくなっている状況の中、助け合いや交流のある地域づくりを目的に食糧支援に取り組みました。



年末年始の取り組みでは、140世帯延べ372名の方へ食糧や日用品をお届けし、つながることが出来ました。

10月の取り組み報告動画はこちら



## 2月 みんなで一歩プロジェクト2022ひよしバージョン健康すごろく

令和3年2月に始めた「みんなで一歩プロジェクト」の健康すごろく。令和4年はひよしバージョンとして、地域住民の健康づくりや日吉町の魅力の再発見につながればと思い、取り組みました。

ひよしバージョンでは、計画段階から日吉町の民生児童委員さん・ふれあい委員さんと連携して、相談しながら作成しました。また、すごろくを通した多世代交流のために小中学校への配布を行いました。

企業や団体からのご支援、地域の皆さまのご協力のおかげで、多くの方に参加していただくことができました。本当にありがとうございます。

応募総数  
361人  
協賛企業  
団体数  
36団体

## 令和4年度ふれあい委員研修会(八木4/16, 美山4/23, 園部4/26, 日吉4/28)

一向に収まらないコロナの影響ですが、施設の使用制限など少しづつ緩和されている現状です。南丹市の各地域において、当日の検温、マスクやアルコール消毒、換気など感染症対策を万全にして、令和4年度のふれあい委員研修会が開催されました。新任の委員さん、再任、継続の委員さんがおられるなか、ブロック別に分かれて交流される地域、研修発表をされる地域と特色があ

りました。どの地域においても、ふれあい委員活動を推進する背景を知り、自分以外のふれあい委員の活動を知り、また、社協の事業を知っていただくことで、何かあれば社協につないだらいいという安心感を持つもらうことができたのではないかという想いが持てました。



## 地域包括支援センター

- 認知症サポーター養成講座(3回)
- 出前講座(17回)
- ケアマネ連絡会(4回)
- 地域ケア推進会議

## 自立支援部

- ひよりカフェ

## 地域福祉部

- 音訳ボランティア入門講座(計4回)
- 市内小中学校福祉教育(計6校)
- たすけあい会議(園部1回、日吉1回)
- 地域別懇談会(7地域)
- 園部町ふれあい委員 ブロック会議(6ブロック)
- 八木町ふれあいネットワーク会議
- 美山町ふれあい委員・民生児童委員交流会(3地区)
- 訪問型サービスD(移送前後の生活支援サービス)を活用した取り組み／園部買い物支援実証実験
- 生きがい活動支援通所事業終了地域での通いの場立ち上げ(13か所)

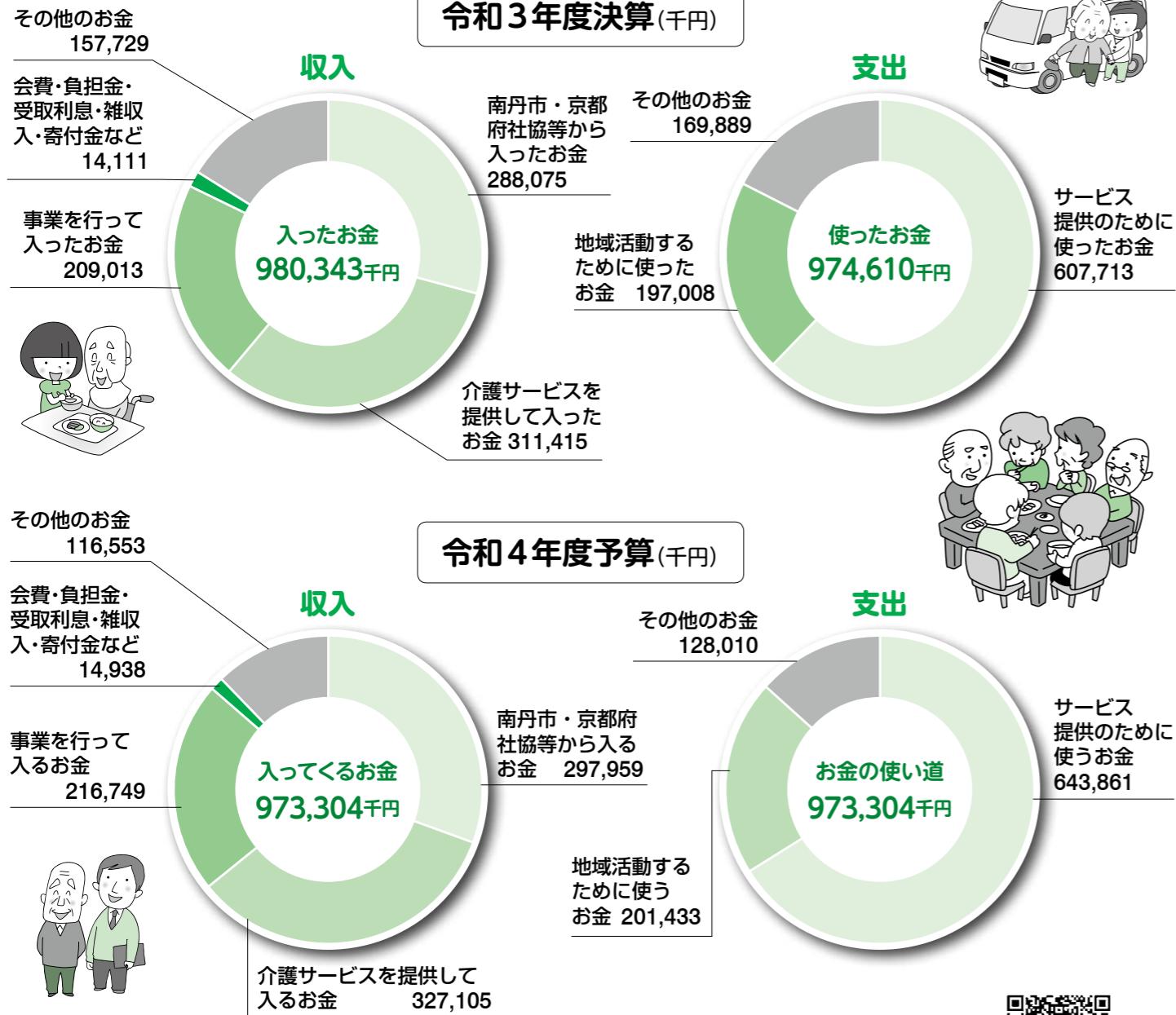
# 南丹市社会福祉協議会が目指す社会(ビジョン) すべての住民の こころが輝く 福祉のまちづくり

## 法人運営基本方針

住民との福祉の共創

福祉協働社会の構築

選ばれる  
福祉サービスの提供



※令和4年度収支予算の詳細、令和3年度収支決算の詳細については本会ホームページ  
(<http://care-net.biz/26/nantanshakyo/>) 及び本会本所、各事務所にてご覧いただけます。



# 南丹市社会福祉協議会 役員・委員等紹介

令和4年7月1日現在  
(敬称略)

## 役員(会長・副会長・理事・監事)

役職	氏名	選任区分
会長	吉田 進	地域の代表
副会長	原田 清弘	学識経験を有する者
副会長	塩貝 潔子	学識経験を有する者
常務理事	榎原 克幸	本会が経営する施設の施設長等
理事	阪口 一雄	地域の代表
理事	中川 剛	学識経験を有する者
理事	下田 由香里	学識経験を有する者
理事	大坪 洋子	民生児童委員協議会
理事	谷口 和隆	民生児童委員協議会

役職	氏名	選任区分
理事	坪井 秀粹	民生児童委員協議会
理事	南 清	民生児童委員協議会
理事	広瀬 滋子	ボランティアの代表
理事	四方 厚司	社会福祉施設の役職員
理事	堤 博明	議会
理事	矢田 浩一	行政
監事	川勝 高博	財務諸表を監査し得る者
監事	草木 太久實	社会福祉事業に学識経験を有する者

## 評議員

氏名	選任区分
三觜 昭	地域の代表
柏下 修	地域の代表
永塚 則昭	学識経験を有する者
榎本 尚	学識経験を有する者
今井 恵一	民生児童委員協議会
都筑 大乗	民生児童委員協議会

氏名	選任区分
鍋田 和夫	民生児童委員協議会
原田 朱美	民生児童委員協議会
船越 昭	社会福祉団体
平田栄美子	社会福祉団体
清水 範子	社会福祉団体
内山 易	社会福祉団体

## 評議員選任・解任委員会

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
外部委員	和久田 哲夫	監事	草木 太久實	事務局員	松尾 勇也

## 企画(小)委員会

高齢者福祉、障がい者福祉、児童・青少年福祉、子育て支援、他社会福祉を目的とした企画や地域福祉活動計画について協議しています。

園部町	八木町
山下 秋則	地域の代表
中嶋 美好	知識・経験を有する者
田中 令子	知識・経験を有する者
山本 実彦	ボランティアの代表
吉田 靖	民生児童委員協議会
奥村 恵子	ふれあい委員
内山 易	当事者組織
藤村 香菜子	地域の代表
高向 一統	知識・経験を有する者
浅田 美佳	知識・経験を有する者
中川 佐由美	ボランティアの代表
谷口 和隆	民生児童委員協議会
口谷 久美子	ふれあい委員
西村 春生	当事者組織

日吉町	美山町
吉田 辰男	地域の代表
水口 秋夫	知識・経験を有する者
水谷 千里	知識・経験を有する者
牧野 正勝	ボランティアの代表
寺阪 明美	民生児童委員協議会
井尻 孝子	ふれあい委員
木戸 ウメノ	当事者組織
南條 敏子	地域の代表
大隅 孝夫	知識・経験を有する者
東 十三恵	ボランティアの代表
大矢 強馬	民生児童委員協議会
中西 多嘉子	ふれあい委員
大牧 秀夫	当事者組織

※各町小委員会の委員長・副委員長により、企画委員会を構成する。

## 広報委員会

本会が発行する広報誌や事業の啓発活動について協議しています。

潮田 正美	知識・経験を有する者	園部町
谷 幸	知識・経験を有する者	八木町
仲 絹枝	ボランティアの代表	八木町
塩貝 福美	ボランティアの代表	日吉町
奥村 直樹	民生児童委員協議会	園部町
南 清	ふれあい委員	美山町
池上 瞳子	人権擁護委員	八木町

## 生活福祉資金調査委員会

京都府社会福祉協議会が行っている生活福祉資金に関する各種手続きの他、南丹市からの受託事業である「くらしの資金」に関する決定の可否などの手続きについて協議しています。

吉田 進	本会の理事	日吉町
小寺 貞明	民生児童委員協議会	園部町
村上不二子	民生児童委員協議会	八木町
加地 宏幸	民生児童委員協議会	日吉町
上澤 秀春	民生児童委員協議会	美山町
橋本 千代	行政	園部町

## ボランティアバンク運営委員会

ボランティア活動の振興を目的に、基金の運用および運用益、活動の広報・啓発について協議しています。

西田 節子	知識・経験を有する者	園部町
芦田 美子	知識・経験を有する者	八木町
芦田 千里	ボランティアの代表	美山町
馬渢 政子	民生児童委員協議会	八木町
湯浅 宗一	民生児童委員協議会	日吉町
奥井 清	ふれあい委員	園部町
池田眞由巳	ふれあい委員	八木町
木南 久子	ふれあい委員	日吉町
柳生みどり	ふれあい委員	美山町
平田栄美子	当事者組織	園部町
山本 和美	当事者組織	日吉町
西 しげ子	当事者組織	美山町
村上しおり	行政	園部町
矢野茉里奈	教育委員会	園部町

## 苦情解決第三者委員会

本会への苦情に関する日常的な状況を把握しています。

## 個人情報保護委員会

本会が定める「個人情報保護規定」に基づいた、個人情報にかかる苦情解決に関わっています。

(兼務)

小林 弘和	民生児童委員協議会	園部町
山脇 昇	民生児童委員協議会	八木町
奥村 一彦	民生児童委員協議会	日吉町
古屋 義美	民生児童委員協議会	美山町
清水 郁代	人権擁護委員	園部町
畠 輝雄	人権擁護委員	八木町
西村 隆雄	人権擁護委員	日吉町
山崎 賢司	人権擁護委員	美山町

## 善意銀行運営委員会

善意銀行の積立および取崩に関するこの他、運用および運用益について協議しています。

森 勲次	知識・経験を有する者	園部町
閑 とし	知識・経験を有する者	八木町
栗田千八栄	知識・経験を有する者	日吉町
倉内喜久雄	知識・経験を有する者	美山町
中尾 敬子	民生児童委員協議会	園部町
岡本 真幸	民生児童委員協議会	八木町
牧野 正勝	民生児童委員協議会	日吉町
清水知江美	民生児童委員協議会	美山町
橋本 千代	行政	園部町

## ふれあい委員

### 園部 担当区

井尻 雅代	宮町
竹中 喜美子	上本町
吉田 喜代子	本町
佐々木しのぶ	若松町
柄下 夏美	若松町
久世 道子	新町
十倉 好恵	新町
森 由美子	小山東町
森 孝子	小山東町
欠員	府営向河原団地
欠員	府営向河原団地
和辻 理恵	小山西町
野々口 稔	小山西町
竹原 文子	小山西町
植村 勝	栄町
欠員	栄町
岡田 紀章	美園町
梅木 寧輔	美園町
横井 章	美園町
服部 廣子	小桜町
奥井 清	小桜町
野中 大樹	城南町
田中 日出男	横田
松本 健	横田
西田 真左和	黒田
小谷 照夫	黒田
野口 晴美	上木崎町
戸川 久子	上木崎町
福山 浩司	河原町
矢野 篤子	木崎町
中川 郁江	木崎町
北井 百合美	木崎町
保田 信江	内林町
竹中 里子	内林町
中井 順市	瓜生野
船越 幸人	熊崎

### 内藤 美代子 担当区

廣瀬 日出也	本町三丁目
崎山 良子	千妻
栗原 丞子	曾我谷
平田 真奈美	船岡
佐野 孝子	船岡
片山 喜代子	高屋
片山 恵子	大戸
広松 真弓	熊原
上田 文代	佐切
竹本 清美	越方
小越 和子	竹井
高杉 千津子	竹井
平田 正吉	本郷東
辻田 三代子	竹井
山村 英子	竹井
谷 久美子	仁江
山内 由美子	船阪
大坪 良子	大西
小林 加代子	宍人
松田 育子	半田
岡田 喜代子	口人
西田 清子	口司
須知 由香	殿谷
野々口 寿美子	埴生
塚脇 知子	埴生
奥村 真知子	南八田
野村 由紀	天引
高草 秀悟	法京
奥村 はるみ	大河内
畠 佳代	南大谷
奥村 恵子	若森

### 八木 担当区

八木 真由美	本町一丁目
佐藤 知草	本町一丁目
中西 初代	本町一丁目
田井 澄	井ノ尻
大槻 厚子	井ノ尻
福嶋 敏子	本町二丁目

## 善意銀行運営委員会

善意銀行の積立および取崩に関するこの他、運用および運用益について協議しています。

三觜 都	室橋
明田 賢一	諸畠
松本 義典	諸畠
明田 満子	野条
松本 知江美	野条
麻田 洋二	池上
西河 泉	池上
谷口 かおる	神吉上
池田 真由巳	神吉上
中辻 慶子	神吉下
口谷 久美子	神吉和田

日吉	担当区
吉田 紀子	殿田(上)
吉田 幸代	殿田(下)
湯浅 恵子	木住
野田 ひと美	木住
船越 悅子	生畑
吉田 正子	生畑
梶本 緑	中世木
松本 静子	中世木
塙貝 しげ子	上保野田
田中 良子	下保野田
津中 順子	志和賀
井尻 孝子	志和賀
村瀬 ひふみ	畠郷
谷川 美栄	畠郷

美山	担当区
片山 真智子	南
中野 孝代	北

## 会費(ふくしまライ共創金)納入のお願い

私たち社協は、地域の皆さま、関係機関の皆さまと共に、しあわせを感じられるまち(ミライ)を創っていきたいと考えております。この度、会員制度や会費について、より身近に感じていただきたいという思いから、社協会費に『ふくしまライ共創金』という愛称を定めました。本年度も、地域活動を支えるための財政支援に、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 善意のご寄付ありがとうございました

令和4年3月1日～令和4年5月31日受付分

ミモザの会	様 25,000円 つくし園のために
上原 栄樹	様 100,000円 亡父の供養に
園部グランドゴルフ協会	様 20,000円 福祉のために
井本 章榮	様 100,000円 亡夫のために
匿名寄付	10件 457,800円
園部ライオンズクラブ 会長 長束 尚 様	マッスルスース 福祉のために
清源寺	様 米多数 フードバンクのために
匿名寄贈	2件

## 日本赤十字会員増強運動 (5月)にご協力 ありがとうございました

1,621,220円  
(令和4年6月10日現在)



日本赤十字社公式  
マスコットキャラクター  
「ハートラちゃん」

皆さまの善意に厚く  
お礼申し上げます。  
なお、ご協力いただ  
いた活動資金は、全額  
日本赤十字社へ送られ  
ていただきます。



## その後の取り組み

# 題して、 親子で考える 防災講座

2022  
3/13

みんなで一歩プロジェクトの達成者×100円を使って子育てサロンを応援するための事業を開催しました。

アウトドア防災ガイドのあんどうりすさんを講師に招き、親子で考える防災講座を開催しました。コロナ禍の影響で、講師は自宅からオンライン、参加者15名（5名はオンライン）とスタッフは会場の日吉はーとぴあで受講しました。

当日は、日吉の子育てサロン「ママハウス」のスタッフさんに託児をお世話になりました。子ども達は元気いっぱい遊んで、ママ・パパはしっかりとお勉強することができました。



## 講演の内容

非常持ち出しグッズは、家族の人数、年齢、生活スタイルによって必要なものを準備するのがよい。

→普段から使っているものを入れておくと、子どもの安心につながる。

避難所への支援物資が届くのは年々早くなっているが、アレルギー対応の食事は届くまでに2週間ほど時間がかかる。

→食物アレルギーがある人は、自分用の食糧を確保しておく。

災害情報が色々あってわかりにくい。しかし「気象庁が臨時会見する時」は、「マジでヤバい！」と覚えておいたらよい。

## 参加者の声 アンケートより



ネットの情報だけでなく  
直接聞くことができ  
よかったです。



子どもがいると講演会など  
なかなか参加しにくいですが  
一緒に参加できてとても  
よかったです。



講演中もスタッフの方が  
子どもの相手をしてくれたので  
ゆっくり聞くことができました。

## 非常勤職員を募集しています

詳しくは TEL 0771-72-3220  
南丹市社会福祉協議会生活相談課まで

## 「福祉サービス利用援助事業の生活支援員」地域福祉活動に理解と熱意のある方

**業務内容** 高齢者や障がいのある方などへの福祉サービスの利用援助や、あらかじめ定められた日常的な金銭管理の支援を、専門員及び担当職員の指示のもと行っていただきます。

**賃金** 時間給950円

**雇用条件** 週1日～2日（1回1～2時間）から空いている時間を有効に活用しませんか？  
**活動場所** 南丹市内（自家用車を公用車として借上）  
**必要資格** 特になし。年に2～4回程度、社協内外の研修があります。